

献血のお願い

8月20日(水)21日(木)

来場目標0名様！
皆様のご協力を
よろしくお願いします！！

10:00-11:30/13:00-16:00



会場：本庁舎玄関前

輸血を待つ患者さんは大勢いらっしゃいます。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

輸血を受けた患者さんからの
「ありがとうの声」



大切な血液を
分けてくださった方々に
感謝の気持ちを
伝えたいです。

2025年3月4日 ペンネーム: えみちゃんさん

ご参加前の確認事項

下記該当項目がある方はご参加いただけない場合があります。ご不明な点は受付職員までお尋ねくださいませ。

- ① 3日以内に薬を飲まれている方（当日服用していても大丈夫な薬もあります）
- ② 3日以内に歯科治療された方（歯石除去含む）
- ③ 直近のお食事を2食以上摂られていない方、睡眠時間が4時間以内の方
- ④ 海外からご帰国後4週間以内の方
- ⑤ 1980年以降、欧州・サウジアラビアに一定期間滞在された方
- ⑥ 1980年～1996年まで31日以上英国にご滞在歴のある方
- ⑦ 臓器移植・輸血歴のある方、ヒト由来プラセンタ注射薬の使用経験がある方

★当日服用でも献血OKのお薬★

- 尿酸値を下げる薬
- 血圧を下げる薬
- 高脂血症薬
- 花粉症の薬

※風邪薬、痛み止めなどは当日不可です※

予防接種について

予防接種を受けられた方は、接種後一定期間を空けていただく必要があります。

- インフルエンザ：接種後24時間以内不可
- B型肝炎ワクチン：接種後2週間以内不可
- 麻疹・風疹ワクチン：接種後4週間以内不可
- 新型コロナワクチン：接種後48時間以内不可
（ファイザー製・モデルナ製）
- 带状疱疹ワクチン：接種後24時間以内不可

献血にご協力いただいている皆様に知っていただきたいこと

Q.なぜ、献血をする必要があるの？

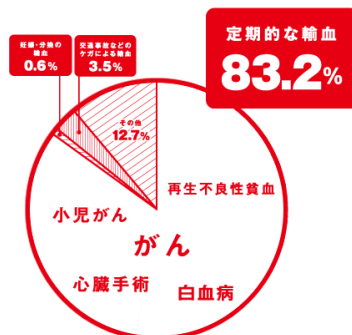
献血した血液の80%以上は、
ガンなどの病気の治療に**毎日**使われています。

そのために必要な献血者数は、**1日あたり14,000人。**

輸血用血液製剤は、がんや白血病、再生不良性貧血などの治療のために、定期的に輸血を必要とする患者さんにその大部分が使用されています。（1日平均約3000人）
日本では、輸血用血液製剤は、すべて皆様からの『**献血＝ボランティア**』で成り立っています。
皆様お一人お一人の善意によって、患者さんは救われています。

現在、日本人の**2人に1人はガンにかかる**と言われています。
いつか、ご自身や身近な方がガンの治療で輸血を必要とする時が来るかもしれません。

『**献血**』も『**輸血**』も、決して他人事ではないのです。



Q.日本赤十字社が、いつも献血をお願いしているのは、なぜ？

血液は、
人工的に造ることができない



血液は、
長期保存ができない



赤血球28日間



血小板は4日間

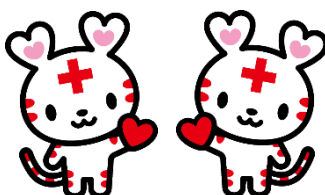
近年iPS細胞の研究が進み、再生医療のために重要な役割を果たすと期待されていますが、
血液の機能を完全に代替できる手段は現在のところ、まだありません。
今も、そして今後しばらくの間も、輸血を必要とする患者さんのための献血は欠かすことができません。
さらには長期間保存することもできないため、日々安定的な献血協力が必要なのです。

Q.現在の都内献血状況について？

都内の献血状況

A型	心配です	❤️
O型	困っています	❤️
B型	心配です	❤️
AB型	心配です	❤️

すべての血液型でご協力を必要と
しております。
日々献血状況は変化していきます。



病気と闘う患者さんを救うことができるのは、お読みいただいている皆様です。